

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	見沼ヘルシーランド
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市緑区大崎322-1</p> <p>②施設の設置目的 市民の健康維持及び増進、心身の休養を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設／昭和62年10月2日 構造等／鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 面積／敷地面積:7,320.00㎡ 延床面積:3,363.33㎡ 施設／入浴施設、大広間、温水プール、アスレチックジム、レストルーム、レストラン</p>
(3)指定管理者	クリーン工房・さいたま管理システム連合体
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和元年度83,256千円、令和2年度94,807千円、令和3年度84,906千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 62,908人(前年度29,149人)</p> <p>◇業務実施状況 ・総務・事務・フロント業務 ・ルーム・プール・アスレチック管理運營業務 ・健康づくり事業 ・送迎業務</p> <p>②維持管理業務の状況 ・清掃業務(施設・浴室)、浴室巡回強化 ・施設、設備維持管理業務</p> <p>③その他(自主事業等) ・東浦和駅～見沼ヘルシーランド間無料送迎バスの運行 ・ポイントカードの導入 ・各種教室の開催 無料ストレッチ教室、無料アクアウォーキング、無料水泳教室、シニアヨガ、ジョイフルフラ、太極拳教室、ボディケアエクササイズ、子供水泳教室 ・地元農家の野菜販売(平日)</p>
(6)収支状況	<p>①収入 ・利用料金収入30,026千円 (前年度13,749千円) ・指定管理料84,906千円 (前年度94,807千円)</p> <p>②支出 ・人件費60,089千円 (前年度56,084千円) ・事務費3,586千円 (前年度5,742千円) ・施設運営費54,412千円 (前年度48,226千円)</p> <p>【自主事業】 ①収入8,088千円 (前年度2,979千円) ②支出9,938千円 (前年度6,469千円)</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	大広間の畳の損傷が激しく、ささくれているので修繕して欲しいとお客様からご要望を頂いており、約80畳の畳の張り替えを行った。お客様からも直接、感謝のお言葉を頂いた。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設の利用促進	新型コロナウイルスの影響を受けながらも、感染防止対策を徹底し、利用者が安心して施設を利用できるよう配慮することで利用促進に繋がった。
利用者へのサービス向上	利用者のニーズに合わせ、レストランのメニューを改定しテイクアウトの充実を図るなど、サービス向上に繋がる取組を実施できた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和3年度の入館者数は62,908名で前年度の入館者数29,149名と比較して2倍以上となり、コロナ以前の入館者数の8割程度まで回復することができました。また施設の取り組みとしては新型コロナウイルス感染防止対策として、引き続きアルコール消毒液の設置、換気、ロッカーやサウナ、プールの人数制限、ポスターや館内放送による注意喚起等を行って参りました。こちらに関しましては令和4年度以降も引き続き行い、感染者を出さないように努めることが公共施設における現状の最優先事項であると考えております。自主事業に関しましては、密を避けるために大きなイベント等は引き続き自粛して参りましたが、レストランのメニュー改定、テイクアウト等の充実を図る等、お客様のニーズに合わせて取り組んで参りました。今後はより一層、お客様の声に耳を傾け、近隣施設や地域の住民の皆様と協力しあいながら、地域の方の安全第一で、健康の維持・増進のために努力して参ります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民局市民生活部市民生活安全課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・利用促進について、各種教室開催や東浦和駅・施設間の無料送迎バスの運行等、利用者増に向けた取組を継続して行っている。
- ・収支について、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館及び利用制限等の影響が続く中、徹底した感染防止対策等の取組が利用者数の急速な回復に繋がり、利用料収入は前年度と比較して約2.1倍の増収となった。
- ・サービスについて、利用者のニーズの変化に合わせてレストランのテイクアウトメニューを充実するなど、改善に努める姿勢が見られた。また、アンケート回答者へのポイント付与等の実施により、回収量を大きく向上させることができた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者数について、引き続き新たな取組を検討し増加に向けた取組を継続していただきたい。
- ・収支について、新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復しつつあるが、依然として厳しい状況が続いているため、人件費等コスト削減など更なる努力を継続していただきたい。
- ・サービスについて、アンケートの内容から他の利用者のマナーに関する内容が見受けられるため、周知の方法等について検討していただきたい。